

レファレンスだより 2021年12月号 No.229

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンスサービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。

■レファレンス受付件数（2021年9月分）

参考	人文	社会	自然	郷土・文書
28	904	192	157	164
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
136	15	313	39	1,948

（開館日 25日 一日平均 78件）



今月の特集!

大掃除

掃除の参考になる図書館資料をご紹介します



『掃除を減らして健康になる「始末の習慣」』松本 忠男／著 廣済堂出版 2020年 597/マ/ 分館所蔵

『新型コロナウイルス対策のプロが教える科学的に正しい除菌・掃除術』

神野 敏幸／監修 扶桑社 2020年 597/シ/ 分館所蔵

『自衛隊式片づけ術』畠山 大樹／著 飛鳥新社 2019年 597/ハ/ 分館所蔵

『片づけ・収納・掃除・洗濯の教科書』エクスマレッジ 2018年 597/カ/ 分館所蔵

『ナチュラルおそうじ大全』本橋 ひろえ／著 主婦の友社 2019年 597/ト/ 分館所蔵

『ラクして続く、家事テク』牛尾 理恵／著 朝日新聞出版／編著 朝日新聞出版 2018年 597/ウ/ 分館所蔵



大掃除はいつ行う?

寒い冬に水を使った掃除をするのはつらいもの。

住宅・家事専門のライター、藤原千秋さんも「この時期に大掃除をするのは、世界でも日本くらい。真冬の寒い時期に窓を開け放して水を使うなんて、苦行です。大掃除というと、なぜか換気扇や網戸を洗う人が多いのですが、油汚れは暑いときのほうが溶けやすいですし、網戸を洗って風邪をひくくらいなら、やらないほうがまし。大掃除は5月の連休か8月から10月までがベストです」と雑誌記事で解説しています(※1)。絵本でおなじみのぐりとぐらも、春におおそうじをしていますね(※2)。

図書館資料で韓国と中国の大掃除について調べてみました。

韓国では、家によって異なるが陰暦1月15日の前日と元旦の前日に最も多く行われるとのこと。また、大晦日に古くなった薬を燃やし、薬のにおいで疾病をなくすという厄除けを行う風習もあるようです(※3)。

清代の蘇州における年中行事について書かれた『清嘉録』には、「打埃塵」は各家庭で暦のよい日を選ぶか、もしくは旧暦12月の23・24日、もしくは27日に決めてする者もいる、と書かれています(※4)。

※1 『週刊朝日』2014年12月26日号 閉架書庫 p.036

※2 『ぐりとぐらのおおそうじ』なかがわ りえこ／文 やまわき ゆりこ／絵 福音館書店 2002年 E/グ/ 1階子21

※3 『韓国の歳時習俗』張 籌根／著 児玉 仁夫／訳 法政大学出版局 2003年 386.21/チ/2階D19 pp.285-286

※4 『清嘉録』顧 禄／[著] 中村 喬／訳注 平凡社 1988年 386.22/コ/ 2階東洋文 p.256



質問：豊臣秀吉の朝鮮出兵（文禄・慶長の役）時に武士達が乗っていた船の絵や写真が載っている資料はあるか。



回答：日本水軍は安宅船、朝鮮水軍は亀甲船を使用していました。
以下のような資料があります。

- ① 『秀吉の野望と誤算：文禄・慶長の役と関ヶ原合戦』（笠谷 和比古／共著 黒田 慶一／共著 文英堂 2000年）1階ポ69 210.49/カ
p.92「鳴梁大橋の亀甲船像」、p.93.「李忠武公全書」に描かれた亀甲船」、
p.96「安宅船」、p.97「朝鮮の役で軍馬を輸送した「馬船」」、p.100「秀吉軍船の陣容」
- ② 『文禄・慶長の役の戦跡<倭城>』（斉藤 政秋／文と写真 ごま書房 2008年）1階ポ69 210.49/サ
口絵「朝鮮水軍の亀甲船」、p.26「朝鮮水軍の亀甲船」
- ③ 『秀吉と城：2005年度特別企画展』（佐賀県立名護屋城博物館／編集 佐賀県立名護屋城博物館 2005年）2階B10 210.48/ヒ p.48「安宅船と亀船（亀甲船）」
- ④ 『文禄・慶長の役』（中野 等／著 吉川弘文館 2008年）1階ポ69 210.49/ナ
p.29「亀甲船模型（亀船）」
- ⑤ 『慟哭の海峡 2版：秀吉の朝鮮出兵』（本村 精二／著 本村精二 2016年）1階ポ69 210.49/エ p.84「安宅船 模型」「亀甲船 模型」
- ⑥ 『秀吉の朝鮮侵略と民衆』（北島 万次／著 岩波書店 2012年）1階ポ69 210.49/キ
p.71「肥前名護屋城図屏風」の安宅船」、p.74「復元された亀甲船と亀甲船背上の刀錐」
- ⑦ 『空虚なる出兵：秀吉の文禄・慶長の役』（上垣外 憲一／著 福武書店 1989年）
閉架書庫 210.4/カ p.115「亀甲船古図」

質問：二十四節気、七十二候の本で、旬の野菜（食材）の写真やイラストが載ってる本はあるか。



回答：以下のような資料があります。

- ① 『福を招く食と暮らしの七十二候』（石倉 ヒロユキ／著 幻冬舎エデュケーション 2014年）1階ポ65 449.34/イ
旬の野菜や果物、食べ物を季節の行事と共に紹介。豊富なイラストあり。
- ② 『暮らしをもっと豊かにする七十二候の楽しみ』（小泉 さよ／絵 世界文化社 2013年）
1階ポ65 449.34/ク
東風解凍、紅花菜など七十二候をもとに、自然や旬の食べ物や行事を、イラストレーター小泉さよの
絵で紹介。
- ③ 『二十四節気の暮らしを味わう日本の伝統野菜』（木村 正典／著 naggyl／イラスト G.B. 2014年）分館所蔵 626/キ
谷中しょうが、聖護院かぶ、などの伝統野菜を、その由来や特長、料理について豊富なカラー写真と
イラストで紹介。
- ④ 『季節の生きもの観察手帖：自然を楽しむ二十四節気・七十二候』（自然観察大学／企画・編集 全国農村教育協会 2017年）1階ポ65 468.5/キ
季節ごとの多様な生物を観察するガイドブック。カラー写真と解説付き。
- ⑤ 『365日を豊かに過ごす日本の四季、二十四節気、七十二候』（宝島社 2019年）1階ポ65 449.34/サ
行事や動植物、気候や食といった四季折々の事柄を365日にそって紹介する暮らしの暦の本。



質問: ナイチンゲール記章を受賞した日本人を知りたい。



回答: 以下のような資料があります。

- ① 『看護学大辞典』(メヂカルフレンド社 2013年) 2階E2 R492.9/カ/
“ナイチンゲール記章”とは、スイスの赤十字国際委員会からナイチンゲールの誕生日である5月12日に隔年で看護師に与えられる世界最高の栄誉であることがわかる。また、2011年現在、日本人受章者は、103人との記述あり。
- ② 『日本赤十字社創立130周年記念誌』(日本赤十字社企画広報室/編集 日本赤十字社 2007年) 2階D5 369.1/ニ/ダ/タウ
ナイチンゲール記章が設立された経緯や目的、またその資金についての記述があり、また1920年(初回)の授与者として、日本人3名が明記され、2005年までに日本人97人が受章していることが紹介されている。
- ③ 『人道-その歩み: 日本赤十字社百年史』([日本赤十字社/編] 日本赤十字社 1979年) 2階D5 369.1/ニ/ダ/タウ
12章に第1回から第26回までの日本の受章者リストあり。また、付録には、フローレンス・ナイチンゲール記章規則が掲載され、設立された由来やどのような人物に対して授与されるか、どのようなデザインの記章かなどが伝わる内容となっている。
- ④ 『日本赤十字社社史稿』大正12年-昭和10年 第4巻『日本赤十字社社史稿 昭和31年-昭和40年 第7巻』(日本赤十字社/[編] 日本赤十字社) 閉架書庫 369.1/ニ/ダ/タウ
- ⑤ 『日本赤十字社社史稿 昭和41年-昭和50年 第8巻』『日本赤十字社社史稿 昭和51年-昭和60年 第9巻』『日本赤十字社社史稿 昭和61年-平成7年 第10巻』『日本赤十字社社史稿 平成8年度-平成17年度 第11巻』『日本赤十字社社史稿 平成18年度-平成27年度 第12巻』(日本赤十字社) 2階D5 369.1/ニ/ダ/タウ
④⑤には、それぞれの期間の日本人受章者のリストと、写真付き推薦書、各国の受章者数の表あり。4巻のみ、写真掲載なし。



質問: 欧陽詢(おうようじゅん)の「九成宮醴泉銘(きゅうせいきゅうれいせんめい)」の内容を詳しく解説しているものが見たい。



回答: 以下のような資料があります。

- ① 『欧陽詢 九成宮醴泉銘・皇甫誕碑(書聖名品選集)5』(桃山 艸介/解説 マール社 1986年) 2階B17 728.22/オ/
 - ② 『名碑法帖通解叢書 九成宮醴泉銘』(藤原 楚水/注釈 清雅堂 1949年) 閉架書庫 728.2/オ/
- その他参考になる資料
- ③ 『書道全集 第7巻 中国 7』(平凡社 1955年) 2階B17 728.08/シ/
「九成宮醴泉銘」が書かれた背景、書道博物館(東京)所蔵の「九成宮醴泉銘」の写真等所収。欧陽詢の「化度寺邕禅師碑」と「九成宮醴泉銘」は楷書を学ぶ最高の模範で中国書道史上の名品とも記載。
- 調べたが記載のなかった資料(中国書)
- ④ 『欧陽詢法帖』(欧陽詢 肖嵐/主編 海天出版社 1994年) 2階A17 F102CHI/728.22/OU



今月の一冊!

『大名の江戸暮らし事典』

(松尾 美恵子/編 藤實 久美子/編 柘風舎 2021年) 2階 C10 R210.5/ダ



この本は江戸における大名の生活がわかる総合事典です。最新の研究成果に基づき、江戸における武家、とくに大名をめぐる制度や生活形態が把握できます。将軍からの法度と領知、将軍の警衛・江戸の守衛、登城・拝領・献上、城内外での作法などの幕府関係、そして江戸での屋敷や生活、年中行事などの大名家自体について図表やコラムを交えて解説があり、さらに付録として殿席別大名一覧、大名屋敷一覧も収録されています。

その生涯の半分以上を江戸で過ごした大名達の暮らしぶりをのぞいてみませんか。

使ってみました ⇒ 福岡藩の江戸屋敷はどこにあったかを調べる!

巻末の「大名屋敷一覧」を調べると、p756 のNo.24「当主:松平(黒田)美濃守、居城:筑前福岡」の欄に、「上屋敷:外桜田、中屋敷:赤坂溜池前、下屋敷:渋谷、深川清住町」と記載がある。

江戸屋敷についての解説がp532-567 に記載があり、「上屋敷は大名と家族の住居であり、藩の江戸役所である。中屋敷は大名の火災時等の臨時住居もしくは隠居した当主あるいは世子の住居。下屋敷は郊外にあり、火災時の避難所もしくは保養の為の別邸、さらには生活物資の供給地としての役割を担っていた。」とある。

江戸では火災が多く第二、第三の備えが必要だったのだなと推察。江戸での暮らしも楽じゃない。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号
人文	中世の騎士：ヴィジュアル版	フィリス・ジェスティス/著 大間知 知子/訳	原書房	230.4/ジ
	吉田博全木版画集	吉田 博/著	阿部出版	733.08/3
社会	養育者としての男性：父親の役割とは何か	数井 みゆき/編著	ミネルヴァ書房	367.3/カ
	日本ローカル放送史 ：「放送のローカリティ」の理念と現実	樋口 喜昭/著	青弓社	699.21/ヒ
自然	鳥類のデザイン ：骨格・筋肉が語る生態と進化	カトリーナ・ファン・グラウ /[著] 川上 和人/監訳	みすず書房	488.1/フ
	においが心を動かす ：ヒトは嗅覚の動物である	A. S. パーウィッチ/著 大田 直子/訳	河出書房新社	491.37/ハ



今月の展示 ~総合図書館 主題別(専門書)・国際・国連 展示のご案内~

毎月5つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》 **アニメ・まんが**

《社会科学》 **人権～人にやさしく～**

《自然科学》 **ノーベル賞**

《国際》 **ジェノサイド**

《I階 RCI》

本で読む見る、懐かしのテレビ、メロディ、映画

《国連》 **国連×人権**